

# 令和4年度 白石市の主要事業実績について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ②バーチャル観光やワーケーション需要等、新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備

#### <地域おこし協力隊を活用した観光振興事業>

令和2年度より、地域おこし協力隊制度を活用し、白石城内での甲冑体験の実施を中心に、歴史的観光資源や本市の特性を活かしたイベントの企画、実施を行っている。

また、Facebook、Instagram、Twitter、Youtubeチャンネルを活用し、活動の様子や白石市の情報を発信しており、プロモーションの一役も担っている。新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少する中であっても、徐々に活動が認知されるようになっており、隊員の活躍によって白石城をはじめ白石市の魅力が広く国内外に知られるものとなり、引いては観光振興による地域の活性化につながるよう、活動を続けていく。

#### ○令和4年度の主な活動

- ・ 甲冑体験の実施 ※白石城災害復旧工事中はイベントに出向いて実施
- ・ オリジナル温麺（ノベルティ）の作成
- ・ 白石城前でのキャンプ「城キャンプ」の企画、実施
- ・ 白石城謎解きガイドの製作、販売
- ・ 白石城ガイドの実施
- ・ 地元テレビ局をはじめメディア出演
- ・ 旅行会社への企画提案



### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### <観光需要回復のためのプロモーション事業>

白石市は、車で1時間程度の距離に県庁所在地が3市も立地している潜在性が高い商圏内にあることから、近隣市町並びに東北6県に向けて重点的にプロモーションを行い、マイクロツーリズムを目的とする観光客の集客を図り、観光需要の本格的回復に結び付ける。

- ・ タウン情報誌に観光コンテンツ、特産品などの紹介記事を4回掲載、うち1回は東北6県と栃木県のタウン情報誌計7誌に掲載。
  - ・ Instagram、Facebookのターゲティング広告機能を活用し、東北6県の旅行に関心が高いユーザーに向けて観光資源の情報を配信。
  - ・ 仙台市地下鉄の乗降客が多い駅に、観光パンフレットを掲出。
  - ・ デジタルスタンプラリーイベントを開催。観光施設、宿泊施設、温麺提供店36箇所をスタンプポイントとし、集めたスタンプの数に応じて特産品の詰合せなどプレゼントに応募できる仕組みとし、参加意欲を高めるよう工夫した。
  - ・ 魅力ある観光地と印象づけるよう、観光協会ホームページに記事の追加、動画の掲載、記事画像の追加修正など、ブラッシュアップを行った。
  - ・ 弥治郎こけしのプロモーションを兼ねて、弥治郎こけし村でイベントを開催。工人を招待し実演を披露したり、即売を行った。
- また、イベントの開催を前に、DateFMの番組内でイベントのPR告知を行った。

#### <市内宿泊事業者応援事業>

観光客数は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化、地域経済全体が疲弊していることから、宿泊割引キャンペーンを実施することで観光需要を喚起し、観光関連事業者の下支えを行う。

なお、宿泊観光客の市内周遊を促すため、デジタルスタンプラリーと同期間、タイアップ開催とした。

- ・ 実施期間 令和4年11月1日から令和5年2月28日まで
  - ・ 参加事業者 市内11施設
  - ・ 割引金額 1人1泊につき宿泊料金の1/2、上限5,000円  
※みやぎ宿泊割キャンペーンとの併用可能
  - ・ 割引対象者 東北6県在住者
- ※令和5年1月末現在、1,424人が利用、予算額に対し執行率72%







## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### サイクルツーリズム推進計画策定事業

市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定。

現在のルート of 調査分析とサイクリストへのアンケートを実施し、サイクリストなど有識者を含めた会議を開催した。それにより現在の課題を把握して、今後市においてサイクルツーリズムが活性化する方策を協議した。また、会議やアンケートの結果をもとにサイクルマップを作成。

令和5年度は、計画に基づきサイクリストが訪れやすい環境整備やイベントの企画を予定している。



## (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

### ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

#### 阿武隈急行沿線開発推進協議会事業

##### (1) 沿線活性化事業の開催

- あぶきゅうウォーク（11月27日開催） コース：角田駅～台山公園（往復）約2.7km 参加人数：83名
  - ・阿武隈急行沿線の5自治体にそれぞれウォーキングコースを設定し、参加者はウォーキングを楽しみながら各地の観光地を巡る。
- わたしたちのあぶくま急行絵画展（阿武隈急行列車内に12月1日～25日まで展示）
  - ・沿線自治体の小学校低学年（1～2年生）の児童を対象に、阿武隈急行の絵画を募集し、阿武隈急行列車内に展示した。
  - ・絵画の展示が終了後、応募者全員へ参加賞の配布、受賞者には賞状及び記念品を配付した。

##### (2) 角田市単独の阿武隈急行線利用促進事業

- 体験乗車会＆お絵かきトレイン（11月26日開催） 125名応募の中から、抽選で26名（市内11名、市外15名）の親子が参加
  - ・阿武隈急行駅長による「あぶ急クイズ」や切符の買い方体験、車両窓ガラスへのお絵かき体験を車両を貸し切り行った。
- 阿武隈急行Instagram投稿キャンペーン（9月1日～10月31日まで） 応募投稿数190件 受賞者：グランプリ3名 準グランプリ5名 入賞者5名
  - ・阿武隈急行の写真をSNS（Instagram）で投稿してもらい投稿者の中から受賞者に景品をプレゼントした。



## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

### ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成

#### グリーンツーリズムによる体験型観光の実施

- 6月16日 梅もぎとり収穫体験と納豆工場見学 32名
- 10月2日 秘伝枝豆収穫体験 411名
- 秘伝豆の収穫、袋いっぱい詰め放題（1袋1,000円）
- 11月5日・6日 ねぎまつり（ねぎ収穫体験） 1,800名
- ねぎの収穫、袋いっぱい詰め放題（1袋1,200円）

令和5年度も市内の生産者等と連携し、グリーンツーリズムによる体験型観光の実施していく。





# 令和4年度 蔵王町の主要事業実績について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

- ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）
  - ・ 秋季観光誘客広告宣伝事業【仙台駅特産品フェアの開催／仙台駅構内における広告掲出】



【仙台駅構内における広告掲出】  
...令和4年9月1日～9月30日  
フラッグ6枚、柱巻きシート18面

【仙台駅特産品フェア】  
...令和4年9月17日(土)・18日(日)

...総売上(2日間)  
約2,600,000円(税込)

...総客数(2日間)  
約2,600人



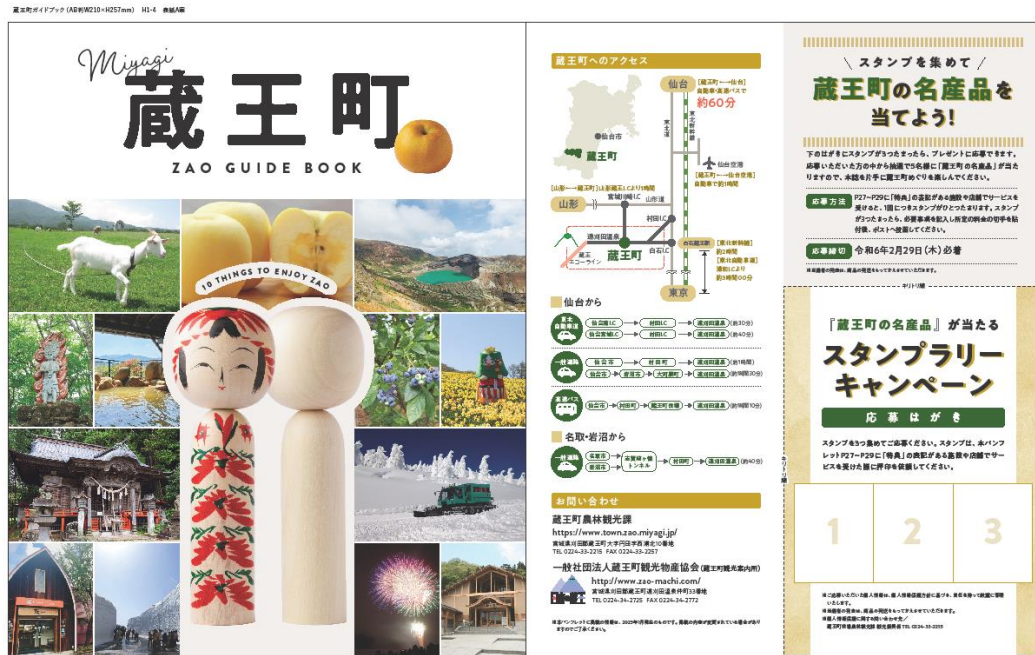


# 令和4年度 蔵王町の主要事業実績について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### ・ダイレクトメール発送業務



- ・令和6年3月末日まで有効な特典がついた「蔵王町ガイドブック」を作成。
- ・新型コロナウイルス感染症の発生からの約3年経過し、観光需要の回復を見込んだうえ、マイクロツーリズムを促進するため、仙台市（太白区）約6万世帯に対し、ダイレクトメールにて発送を行う。





# 令和4年度 七ヶ宿町の主要事業実績について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ②バーチャル観光やワーケーション需要等，新たな観光価値提供に向けた受け入れ環境整備 農業体験などによる宿泊型交流事業

- ・ベガルタ仙台と共同で行っているベガルタハウスで育てたジャガイモの収穫、春に植えた野菜の秋の収穫祭などを行い多くの方に参加いただいた。また、収穫したジャガイモはベガルタ仙台の試合会場で販売し多くの方にご好評いただいた。
- ・今年度も年間を通して七ヶ宿の季節を感じながら、田植えや稲刈り・畑の収穫イベントを開催し、グリーンツーリズムの充実を図る。また、ベガルタハウスを交えたさらなる体験会等を通して交流人口の拡大を目指す。



## (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

### ②蔵王ジオパーク構想などと連携した地域の食と観光のブランド化による誘客促進 七ヶ宿ブランド事業

- ・7品のブランド品の認定更新のほか、1品の新たなブランド品の認定が行われた。また、七ヶ宿ブランド専用販売台を制作、設置し、七ヶ宿ブランドの周知と販売促進を図る。
- ・既存ブランド品のパッケージ更新のほか、販路拡大を目指しつつ引き続き七ヶ宿ブランドの周知拡大を行っていく。



## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や，滞在型メニューの充実

### ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成

#### 南蔵王やまびこの森整備事業

- ・レストランの新メニュー提供のほか、SUP体験についても昨年より利用者が増加しており、多くの方に好評をいただいている。
- ・既存事業のほか、長らく休止状態にあった長老湖売店を再活用し、より多くの観光客に満足していただけるような事業展開を進めていく。





# 令和4年度 大河原町の主要事業実績について

## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在メニューの充実

### ② 隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成

#### ▶ 一目千本桜ブランド化事業（植樹100周年記念事業）

#### ● 柴田町・大河原町の2町連携事業

- ・ 一目千本桜思い出の写真募集、2町共通ロゴマーク決定
- ・ 2町共通の、ポスター・のぼりを制作中



▲ロゴマーク（100年・桜・蔵王をイメージ）

#### ▶ みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議

- ・ フォトコンテスト実施済
- ・ 初級サイクリスト体験ライド  
白石市・七ヶ宿町・川崎町コース実施済。村田町コース実施予定
- ・ みやぎ蔵王三十六景デジタルスタンプラリー  
R4はスポット設定のみ（事務局案策定中）
- ・ サイクルキャラバン（主催・一社自転車協会）への参画  
令和4年10月7日（金） 道の駅かくだ
- ・ サイクルツーリズム推進セミナー開催  
令和5年3月4日（土） えぞこホール  
講師：NPO法人シクロツーリズムしまなみ  
ポタリングガイド 宇都宮 一成 氏





# 令和4年度 村田町の主要事業実績について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### ●地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業【武将カート】

- ・村田町観光物産協会が主催となり、10月23日に標記イベントを開催。伊達武将隊、山形愛の武将隊をゲストに呼び、戦国時代の馬を現代のカートに変えて、対決（合戦）を実施した。一般参加者を足軽隊として募集し、各武将隊チームに分かれてポイントを競い合った。
- ・カートや貸出するプロテクター、ヘルメットなども全て武将仕様。当日は一般参加者及び武将隊ファンなどが来場した。カートのタイムトライアルや各武将隊の演舞披露があり、スポーツランドSUGOに新たな客層を獲得した。令和5年度もイベントを実施する予定。内容については現在検討中。



#### ●2022FIMアジアロード選手権第3戦日本ラウンド

- ・8月13日～14日の2日間、標記イベントをスポーツランドSUGOと村田町で共催。スポーツランドSUGOでは15年ぶりとなる国際大会で、日本を含めたアジア各国からトップライダーが参戦し、熱いレースが繰り広げられた。当日はスポーツランドSUGO内でアジアフードフェスティバルや、町中心部の蔵の町並み内で、蔵の縁日イベントが併催され賑わいをみせた。
- ・令和5年度も6月24日～25日の2日間開催予定。内容については現在検討中。





# 令和4年度 柴田町の主要事業実績について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### ○交流人口拡大事業

- 1年を通じた「花のまち柴田」の四季の花まつり
  - ・しばた紫陽花まつり（6月17日～7月10日）  
期間中11,393人来場
  - ・しばた曼珠沙華まつり（9月17日～10月2日）  
期間中10,176人来場
  - ・みやぎ大菊花展柴田大会（10月20日～11月13日）  
期間中5,246人来場
  - ・Shibata Fantasy Illumination（12月2日～30日）  
期間中15,416人来場
  - ・しばたスプリングフラワーフェスティバル（3月12日予定）



## (2) 広域連携による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開や多彩な魅力のPRによる誘客促進

### ④周辺観光圏と連携した県内・県外客向け共同プロモーション

#### ○「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業

- ・「一目千本桜」の植樹100周年を記念したロゴマークデザインを一般公募し、決定。
- ・デジタル、アナログに関わらず一目千本桜を写した写真を一般の方含め広く募集する思い出フォトコンテストを実施。



## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

### ②隣接地域との連携やテーマ性のある観光ルート形成

#### ○ガーデンツーリズム推進事業

- ・推進協議会委員向けに、「広域連携・広域観光」をテーマとした研修会を開催。
  - 1.令和4年12月26日（月）開催（行政委員対象）
  - 2.令和5年 3月 3日（金）開催（民間委員向け）
  - 3.域内の情報を集約したホームページを作成中





# 令和4年度 川崎町の主要事業実績について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込）

#### 宿泊クーポン発行事業

- ・ 1泊あたり5,000円の補助を1600泊分行う計画
- ・ 令和4年7月1日より利用を開始し、70%精算済み
- ・ 来年度は実施しない予定
- ・ 地方創生臨時交付金を活用

#### ふるさと応援商品券発行事業

- ・ 町民1人あたり7,000円分の商品券を配布し、約60,000千円の需要を創出する計画
- ・ 令和4年6月より順次配布を開始し、8月に追加で第2弾として1人あたり5,000円分の商品を配布
- ・ 来年度は実施しない予定
- ・ 地方創生臨時交付金を活用

#### 包括的シティプロモーション事業

- ・ YouTubeコンテンツ制作、ラジオ番組制作
- ・ それぞれ月2回のペースで配信中
- ・ 来年度も継続する予定
- ・ 地方創生臨時交付金を活用（令和4年度のみ）



# 令和4年度 丸森町の主要事業実績について

## (1) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

### ③地域のコンテンツの一体的PRやテーマ性を持った広域周遊促進（近隣観光需要の取込） 丸森町町内経済活性化事業

#### (1) 5割増商品券販売事業

- ・事業費：40,500,000円
- ・発行総額：112,500,000円（1セット7,500円分、合計15,000セット）
- ・令和4年6月18日（土）～19日（日）の2日間で完売

#### (2) 商品券全世帯配付事業

- ・事業費：53,405,200円
- ・発行総額：50,000,000円（令和4年9月1日現在の住民基本台帳に記録されている世帯。約5,000世帯×10,000円分）
- ・令和4年10月初旬から順次発送し、約9割の世帯へ配付済。使用期限は令和5年3月31日

※(1)、(2)ともに来年度の予定なし。

## (3) 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成や、滞在型メニューの充実

### ①アドベンチャーツーリズムなどの多彩な体験型観光メニューや滞在型コンテンツ商品の造成 まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会事業

#### ・募集型体験企画（主催）

企画内容（カメラ撮影企画、季節の食（たけのこ料理）企画、栗拾い体験、ころ柿作り体験、まち歩き企画）

集客人数：117名



カメラ撮影企画



たけのこ料理



ころ柿作り体験会



まち歩き企画

#### ・来年度の予定

○七夕神社周辺を巡るツアー企画 ○まち歩き、地域歩き企画 ○栗拾い、ころ柿作り体験企画